

令和4年第6回栗原市教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和4年4月28日(木) 午後4時

2 招集場所 金成庁舎201会議室

3 出席委員

1番 笠間八十公 委員 2番 蘇武徳行 委員
3番 久我一仁 委員 4番 千葉みどり 委員

4 説明のため出席した者

教育長	佐藤新一
部長	三塚満
次長	尾形寿美
次長	菅原健志
教育総務課長	菅原浩志
学校教育課長	菅原主税
学校教育課副参事	菅原博
社会教育課長	佐々木克則
文化財保護課長	千葉長彦
教育研究センター所長	松田良幸
教育研究センター副参事	遠藤俊哉

5 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 高橋一人

6 出席点呼・開会

午後4時

教育長 本日、教育長及び教育委員の過半数が出席しておりますので、直ちに会議を開きます。

7 教育委員会会議録の承認

教育長 それでは、3 教育委員会会議録の承認について、事務局に内容の説明を求めます。

事務局 (令和4年3月23日開催の令和4年第4回栗原市教育委員会定例会及び令和4年3月30日開催の令和4年第5回栗原市教育委員会臨時会概要を説明)

教育長 説明が終わりました。何か質問はありませんか。
(なしの声あり)

教育長 質問がないようですので、異議なしと認め、令和4年第4回栗原市教育委員会定例会及び第5回栗原市教育委員会臨時会会議録は、承認することとします。

8 教育委員会会議録署名委員の指名

教育長 次に、4 教育委員会会議録署名委員の指名を行います。1番 笠間委員、2番 蘇武委員に会議録の署名をお願いします。

9 教育長報告

(1) 一般事務報告

教育長 次に、5 教育長報告を行います。

(1) 一般事務報告について、配布資料を御覧ください。

第4回教育委員会定例会後の主な対応事業について説明いたします。

3月30日に市立学校教員離任式、4月1日に教職員服務宣誓式がありました。委員の皆様方にも参加いただきありがとうございました。

4月4日は、白鳥省吾記念館名誉館長の委嘱状交付式でした。教育委員会で承認いただいた佐藤吉一さんに、市長同席のもと委嘱状を交付しました。研究心旺盛な方で、様々な本を出版されております。令和5年は、没後50年ということで、名誉館長がそれに向けて準備を進めているということでもあります。

4月8日・9日・11日については、学校の入学式、幼稚園の入園式でした。委員の皆様方にもご出席いただき、ありがとうございました。

4月13日には、栗原市の小学校陸上競技大会の第1回目の実行委員会がありました。今年は、5月29日に実施予定で、参加人数については、昨年度同様、ある程度しぼった形で進めたいと考えております。クラス数で割り振るとい形です。保護者の応援については、現在のようコロナの感染状況であれば、特に制限は設けずに実施したいと考えております。

4月19日、くりこま高原高等学校陸上競技選手権大会の実行委員会がありました。これは、7月16日・17日に行われるものですが、これまでは、岩手、秋田など県外から招待しておりましたが、昨年度からコロナ対策の関係で県内だけに限定して実施しております。今年度も県内限定で行うことで進めております。観客については、無観客で行う方向です。参加者が選手だけで1,000人近くになり、これに観客を入れるとなると、密の状態となることから、無観客の方向とするというものです。

それから、4月20日に今年度1回目の社会教育委員会議がありました。以前に委員の皆様に見ていただいた、こども読書活動推進計画について、社会教育委員の皆様から意見をいただいたところです。

4月24日、スポーツ推進委員協議会の総会がありました。総会終了

後には、モルックというスポーツの研修を行ったようです。これまで、各地区のレクは、県が夏に実施している宮城ヘルシーの予選の種目となっておりましたが、今年は、その宮城ヘルシーが行われないため、各地区のレクで何を行うかを検討してきたようです。地区によっては、このモルックを行うというところもあるようです。

2番の児童・生徒及び教職員の状況、生徒指導の概況については、3ページの別紙2をご覧ください。3月分ということで、令和3年度の最終的な人数ということになります。不登校の人数は、小学生が15人、中学生が83人。私が着任してから最多人数となってしまいました。今年度1回目の学校長会議の折にも、不登校の人数が増えていることが課題の一つとなっています。各学校には、子どもの心のケアハウス、けやき教室を活用して、可能な限り、子どもたちの学ぶ機会の保障に努めていただくようお願いしているところです。

いじめの認知件数、問題行動については、資料のとおりです。授業抜け出しについては、かなり減ってきているようですが、自覚が足りずに授業中に騒いでいる子どもたちも、まだいる状況です。子どもたちの顔ぶれは固定しているようですので、各学校の校長先生方は、いろいろと工夫して学校経営を行っているようです。25人学級がスタートしましたので、学校の様子、運営の状況などを各学校から聞き取りして歩こうかと考えております。

(2)の事故・けが等については、なしということです。

(3)のその他について、虐待及び虐待の疑いは、1件あります。警察、児童相談所、子育て支援課、そして学校と、皆で対応しながら、家庭の教育力を少しでもアップできるよう思案しているところです。

性非行については、資料のあるようなことがございましたので、学校には厳しく指導するよう話しております。警察にも相談しておりますので、今後、動きを見ていきたいと考えております。

以上であります。何か質問はございませんか。

久我委員

不登校について、小学校では15名、中学生で83名ということですが、この中で、けやき教室を利用している方のパーセンテージといますか、どれくらいの方がいるものか、分かる範囲で構わないので教えてください。

教育長

学校教育課副参事が説明します。

学校教育課副参事

令和3年度の利用者は4名、そのほかに、心のケアハウスというものがございまして、通所でない利用が7名という状況であります。

教育長

こちらに来て利用しているのが4名、こちらから行って対応しているのが7名ということです。

久我委員

小学生、中学生合わせて、その人数ということでしょうか。

学校教育課副参事 けやき教室については、すべて中学生です。ケアハウスの内訳については、申し訳ございませんが、資料を持ち合わせておりません。

教育長 1人は小学生、あとの3人は中学生だったと思います。その子たちの進路の状況ですが、3人とも中学3年生で、公立高校に合格できたという状況です。

中学生で83人ですが、30日以上休んでいるのが83人ということで、常に休んでいるというわけではありません。この数値の出し方だと、学校としても、いくら頑張っても、一旦到達した数値は下がらないというものとなっています。休みの状況について、学校教育課副参事から説明します。

学校教育課副参事 以前の教育委員会でもお話したかと思いますが、その月、或いは、年間全部休んでいるお子さんを全欠といいます。3月は、小学校で0人、中学校で12人。年間を通して全欠だったのが小学校で0人、中学校で3人です。

蘇武委員 この表に手を加える形で、その内訳を資料として出していただけますでしょうか。先ほど教育長のお話にあったように、全欠と、ちょっと休んでいる状態は違うものだと思いますし、もしかすると、不登校ではないのかもしれない。この表の人数だけで見ると、すごい数だという印象を受けますので、表を細かくして内容がわかるようお願いできればと思います。

教育長 この表は、県への報告様式の形になっておりますので、ここでお示しする状況については、もう少しわかりやすい形で対応してもらいます。

蘇武委員 今の3年生が卒業して、1・2年生の49人がこのままスライドして、新1年生が入ってくるわけですが、今の2年生は3年生よりも多いので、このまま3年生に上がったときには、何らかの手立てが必要と思います。この表に、全欠とそうでないものとを区分けして、内容を確認しておいた方がよいと思います。

教育長 この2年生の数については、小学校6年生のときに一番多かった子どもたちでしたが、一度休んだ子どもたちは、やはり30日以上休んでいて、ずっと35人のままで数が減っていかないようです。今年は、昨年ほどではないとしても、これだけの人数がいることは事実なので、1人でも少なくなるよう努力していきたいと思います。他に何かございますか。

笠間委員 心のケアハウスについてお伺いします。中学生は教科担任制だと思いますが、こちらを利用する場合は、1人の先生が対応するのでしょうか、それとも教科ごとに先生がいて対応するのでしょうか。

学校教育課副参事 学校教育支援室の中にあるケアハウスの学習サポーター、支援員という職員がおりますので、そちらの職員が各学校を訪問してマンツーマン

マンで指導しております。

笠間委員

勉強は、全教科やるのでしょうか。また、午前中からとか、午後からとか、1日何時間くらい行っているのでしょうか。

学校教育課副参事

学習サポーターは勤務日が決まっておりますので、その勤務日の範囲内で学校と調整しながら、例えば、何時間目から何時間目まで、などのような形で実施している状況です。

笠間委員
教育長

最初は例えば2時間から4時間とか、時間の幅はどれくらいですか。だいたい1日2時間くらいからで、全部の教科ではなく、例えば、数学の支援員の人は数学をみてあげて、それ以外に理科が好きな子には、一緒に理科もみてあげたりと、1時間から2時間くらいで行っているようです。小学校を担当している支援員の方は、1人で何教科か教える形になりますが、2時間ないし3時間くらいで行っております。

笠間委員

そこでは、勉強だけでなく、子どもと会話したり、相談なども行っているのでしょうか。

教育長

教科だけでなく、今年から、子どもの話を聞いたりすることを専門に行う人にも入っていただいて対応している状況です。

教育長

ほかに、質問はございませんか。
(なしの声あり)

教育長

質問がないようですので、(1) 一般事務報告を終わります。

(2) 専決処分報告

教育長

次に(2) 専決処分報告。報告第4号専決処分の報告について(令和4年第2回栗原市議会臨時会に提案する教育関係議案に対する意見について)、内容の説明を求めます。

教育総務課長

定例会資料1の4ページをご覧ください。

報告第4号 専決処分の報告について、であります。令和4年第2回栗原市議会臨時会に提案する教育関係議案に対する意見を栗原市長から求められたことについて、栗原市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により、下記のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告する。

1 意見 異議なし

2 専決年月日 令和4年4月18日

令和4年4月28日提出、栗原市教育委員会教育長でございます。

本件につきましては、4月26日に開会された、市議会臨時会に提案する教育関係追加議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、4月15日付けで、市長より教育委員会の意見を求められたことから、教育委員会にお諮りするいとまがなく、異議のない旨、専決処分したものであります。

定例会資料2の1ページをお開きください。市長からの4月15日

付けの通知の写しです。教育委員会の意見提出議案につきましては、承認議案1件と予算議案1件となっております。

2ページをお開きください。承認第1号 専決処分の承認を求めることについては、令和3年度栗原市一般会計補正予算第13号となり、9ページまでが議案となります。この補正予算は、年度末における予算執行の確認・整理に伴い、やむを得ず補正しなければならないものを、地方自治法第179条第1項の規定により、令和4年3月31日付けで、市長が専決処分したもので、同条第3項の規定により、市議会へ報告し、承認を求めるものであります。

具体的な補正予算の内容につきましては、補正予算に関する説明書によりご確認ください。16ページから36ページまでが補正予算(第13号)の説明書になりますが、教育関係の歳出予算につきましては、主に28ページから32ページの10款 教育費に計上しており、各項目とも、事業の完了や実績見込みにより減額したものでありますので、詳細なご説明は省略させていただきますが、主なものとしては、30ページの10款3項3目 学校建設費の栗原南中学校校舎大規模改修工事や、31ページの10款5項4目 文化財保護費の土地等購入費などの確定による減額補正を行ったものであります。

次に、ページをお戻りいただき、10ページをご覧ください。

議案第42号 令和4年度 栗原市一般会計補正予算(第2号)であります。補正予算(第2号)につきましては、令和4年3月16日発生の福島県沖地震に伴う災害復旧事業費や被災者支援経費、新型コロナウイルス感染症に係る各種支援策経費、農業用ため池における安全対策経費の追加のほか、通常事業における緊急性や必要性を考慮した補正予算であり、15ページまでが議案となります。

補正予算の内容は、37ページからの補正予算に関する説明書により御説明いたしますが、教育関係予算につきましては、福島県沖地震に伴う災害復旧事業費や小田ダム湖畔パークゴルフ場施設整備費の追加となります。

43ページをお開きください。歳出予算の補正です。中段に記載の10款6項2目 体育施設費では、小田ダム湖畔パークゴルフ場のイノシシ被害に伴う芝の張替えや、外周防護柵設置等の施設整備に要する経費を追加するものであります。

次に、44ページをお開きください。11款3項1目 その他公共施設・公用施設災害復旧費では、福島県沖地震に伴い被害を受けた、栗原文化会館や南部学校給食センター、築館体育センター、若柳総合体育館などの教育関連施設に係る災害復旧経費を追加するものであります。

なお、これらの提出議案は、4月26日の本会議において可決されて

おります。以上で、説明を終わります。

教育長

説明が終わりました。質問はございませんか。パークゴルフ場のイノシシ被害状況については3月まで休みにするしかないという状況です。

笠間委員

地面を掘り起こして何を食べるのでしょうか。

教育部長

根を食べるようです。

蘇武委員

ミミズなども食べるのでしょうか。

教育部長

一緒にミミズも食べるようですが、主に根を好むようです。

教育長

このほか、地震で壊れた施設として栗原文化会館、築館体育センター、若柳総合体育館、それから南部学校給食センターがあります。給食センターの修繕については、何とか急いで学校のスタートに間に合ったところでは。

教育部長

給食は4月11日から通常どおり提供しております。

教育長

ほかに、質問はございませんか。

(なしの声あり)

教育長

質問がないようですので、報告第4号を終わります。

次に、本日、追加資料でお配りいたしました報告第5号 専決処分の報告について、栗原市社会教育委員の人事についての内容説明を求めます。

教育総務課長

定例会資料ナンバー3の1ページをご覧ください。

報告第5号 専決処分の報告について、であります。栗原市社会教育委員の人事について、下記のとおり専決処分したので報告する。

本件につきましては、栗原市社会教育委員として任命している2名が、退職及び人事異動に伴い退任となったことから、それぞれの後任者を補欠委員とすることについて、教育委員会にお諮りするいとまがないことから、専決処分したものであります。

1 退任 退任日 令和4年3月31日

番号、氏名、住所、備考の順に読み上げます。1 早坂忠信、大崎市古川駅東三丁目6番13号、栗原市社会福祉協議会地域福祉課長。2 長倉清敬、登米市南方町原8番地、栗原市立金成小中学校長。

2 補欠委員 任期 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで。同様に、番号、氏名、住所、備考の順に読み上げます。1 鹿野智之、加美郡加美町字西田二番3-4、栗原市社会福祉協議会 放課後児童クラブ総括センター センター長。2 狩野浩二、栗原市栗駒稲屋敷大鳥57番地1、栗原市立栗駒中学校長。

専決日 令和4年4月1日。令和4年4月28日提出 栗原市教育委員会教育長でございます。以上で、説明を終わります。

教育長

説明が終わりました。質問はございませんか。

(なしの声あり)

教育長 質問がないようですので、報告第5号を終わります。

10 議事

教育長 次に、6 議事に入ります。事務局から追加議案提案の申し出がありますので、発言を許可します。

教育総務課長 本日の議事としては、1 議案を提案しておりましたが、定例会資料の追加で配布させていただきました議案第16号 栗原市いじめ防止対策調査委員会委員の人事について、及び議案第17号 金成小中学校運営協議会委員の人事について の2議案を追加議案として御審議いただきますよう御提案いたします。

教育長 事務局から、議案追加の提案がありました。議案第16号を日程2として、また、議案第17号を日程3として御審議いただいてよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教育長 異議なしと認め、議案第16号及び議案第17号について、日程を追加して、御審議いただきます。日程1 議案第15号、日程2 議案第16号、及び日程3 議案第17号については、人事に関する案件でありますので、秘密会として御審議いただきたいと思いますが、御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは、御異議なしと認め、日程1 議案第15号、日程2 議案第16号、及び日程3 議案第17号は、秘密会として審議します。

教育長 ここで、秘密会の取扱いを終了いたします。

教育長 次に、7 その他 に入ります。事務局から報告があります。

令和4年度 栗原市立小・中及び義務教育学校、幼稚園、児童・生徒・園児数について、令和3年度 要保護・準要保護 認定実績について、及び、令和4年度 市内小・中学校 及び 義務教育学校運動会日程について説明をお願いします。

学校教育課長 定例会資料2の46ページをお開き願います。令和4年度栗原市立小・中及び義務教育学校、幼稚園、児童・生徒・園児数であります。義務教育学校については、前期課程は小学校に、後期課程は中学校に含めて算定しておりますので、御了承願います。はじめに、令和4年度の小学校数についてであります。小学校11校、義務教育学校1校となります。児童数は、全体で2,626名です。令和3年度と比較いたしますと、72名の減となっております。次に中学校であります。令和4年度の学校数は中学校6校、義務教育学校1校となります。生徒数は、全体で1,446名です。令和3年度と比較いたしますと、41名の減となっております。次に47ページをご覧ください。公立幼稚園9園、

私立幼稚園1園となります。昨年度まで掲載しておりました幼稚園型認定こども園1施設 若柳よしの幼稚園は、若柳認定こども園として、保育所型認定こども園の取扱いとなったことに伴い、表から除いておりますので、御了承願います。公立幼稚園の園児数は、全体で781名となっております。令和3年度と比較しますと、60名の減となっております。預かり保育については、661名で、令和3年度と比較しますと、34名の減となっております。また、私立幼稚園を含めた園児数は、801名となっております。令和3年度と比較しますと、276名の減となっております。参考といたしまして、若柳認定こども園の1号及び2号の園児を含めると、全体で995名、令和3年度と比較しますと、82名の減となっております。また、674名で、令和3年度と比較しますと、32名の減となっております。

なお、保育所型認定こども園につきましては、預かり保育の区分けはありません。

続きまして48ページをお開き願います。令和3年度要保護・準要保護認定実績についてであります。まず、要保護の認定者であります、10世帯21人です。令和2年度と比較しますと、世帯数の増減はありませんが、2名増となっております。次に準要保護の認定者は、310世帯453人となっております。令和2年と比較いたしますと、3世帯の増、7人の減となっております。次に、東日本大震災における被災に係る準要保護の認定者であります。東日本大震災における被災を起因とし経済的理由により就学機会の確保を目的とするものでありますが、1世帯2名です。令和2年度は、対象者はおりませんでした。

次に、不認定者数ですが、7世帯、13人です。令和2年度と比較いたしますと、5世帯5名の減となっております。

続きまして、49ページをご覧ください。令和4年度市内小・中学校及び義務教育学校運動会日程であります。小学校につきましては、5月14日（土）に一迫小学校、5月21日（土）に築館小学校ほか8校、9月4日（日）に花山小学校が実施の予定となっております。なお、花山小学校につきましては、地区民運動会と合同で実施する予定となっております。次に、中学校であります、5月13日（金）に栗駒中学校と築館中学校、5月14日（土）に志波姫中学校と若柳中学校、5月20日（日）に栗原西中学校、9月17日（土）に栗原南中学校が実施する予定となっております。なお、若柳中学校は生徒会行事として実施する予定となっております。次に、義務教育学校につきましては、5月21日（土）に実施する予定となっております。

以上で学校教育課の報告を終わります。

教育長

次に、令和4年度 栗原市教育研究センター運営方針及び事業概要等

教育研究センター所長

について、説明をお願いします。

資料2の50ページをお開きください。令和4年度栗原市教育研究センター運営方針及び事業について、資料に沿って説明いたします。運営方針は、次代を担う人づくりと、「学府くりはら」の着実な実現を目指し、市の最重要課題の一つである学力向上を中心に据え、交流、支援、発信のキーワードのもと各種業務を推進していくものであります。

事業といたしましては、交流、研修、研究、調査、教育情報の収集、提供、児童生徒への学習支援の拠点として、(1)から(5)の項目の箱書きに記載しております事業を展開しております。具体的な事業につきましては、53ページの事業一覧で説明いたします。

交流事業については、市内の幼稚園や小中学校のほか、他団体の各種研修会や情報交換会への場の提供としての支援となります。昨年度は、市の幼稚園教育研究会や退職校長会、社会教育等の関係団体、市の職員の研修会、北部教育事務所の研修会など延べ2,000人の利用がありました。昨年度に比較して約300人の減となります。これは新型コロナ対策の関係で研修会が中止になったり、オンラインでの開催となったためでございます。

派遣事業では、昨年度に引き続き、外国語教育の授業改善と小中連携への支援をねらいとした外国語教育の充実に向けたアドバイザー派遣事業に力を入れていきたいと考えております。また、幼稚園教員の指導力向上のためのアドバイザー派遣や各校(園)内研修への特任教授の派遣、指導主事訪問時の授業参観及び話し合いへの参加など積極的な特任教授の活用を図ってまいります。特に今年度は、最終年度となる学力向上指定校事業に係る派遣については、授業づくりの段階から関わっていきたいと考えております。

研修事業では、今年度は16の研修事業で、延べ44回の研修を計画しております。ただし、現時点におきましては、新型コロナウイルス感染拡大により、5月6日に予定している幼稚園・学校補助員研修会は延期としております。また、5月11日の初任研・市町村研修Ⅰは内容を変更して実施する予定です。今後は、日程や内容に変更が生じることがあるかと思えます。学力向上に向けた授業づくり研修会としては、外国語教育研修会や算数・数学授業づくり研修会、ICT活用授業づくり研修会を行います。小学校・中学校の外国語教育研修会は、各研修会の第1回目に、すばらしい講師の先生をお迎えして講話をいただくこととしております。昨年度立ち上げた算数・数学授業づくり研修会では、大仙市派遣教員の活用を図りながら、学力の向上を目指していきたいと考えております。ICT活用授業づくり研修会では、昨年度導入されたGIGAスクール構想の実現と更なる充実に向け、教員のスキルアッ

プを図ってまいります。いじめ・不登校解消に向けた研修会では、今年度も早稲田大学の小野寺先生をお迎えし、2回のQ-U活用研修会を実施いたします。今年度新たに立ち上げた学級づくりに向けた研修会では、小学校教員のための学級づくり研修会を開催し、学力向上の土台となる学級づくりに力を入れてまいります。講師は、愛知県の瀬戸 SOLAN 小学校の横藤先生を予定しております。職務別研修会では、学びの土台づくりに向けた研修会として、幼稚園長や主任、研究主任、中堅教員、5年経過教員、新任幼稚園教員を対象として、それぞれの職務や経験年数に応じた研修会を開催します。幼稚園長・副園長・主任等研修会の2回目には、玉川大学の大豆生田先生をお願いしております。さらに、資質・指導力向上に向けた研修会として、幼稚園や学校に配置されている補助員を対象とした研修会を実施いたします。

研究・調査では、NRT調査やQ-U調査の結果分析を行い、その結果を学力向上に向けた授業づくり、授業改善、さらには学級づくりに活かせるようにしております。あわせて、先日行われました全国学力状況調査の結果から、特に力を入れて取り組んでほしい問題等を示し、その活用を図っております。

発信事業につきましても、センター通信や広報くりはらによる情報発信にこれまで以上に努めてまいります。

51ページから52ページの職員構成、施設利用、施設平面図につきましては、資料のとおりでございます。以上、教育研究センターの事業説明を終わります。

教育長

令和4年度栗原市放課後児童クラブ入所状況について、白鳥省吾記念館名誉館長の委嘱について、及び社会教育施設・社会体育施設の閉鎖について、説明をお願いします。

社会教育課長

資料2の54ページをご覧ください。

放課後児童クラブの令和4年4月1日現在の入所状況であります。表の合計欄、市全体の定員1,347人の定員に対しまして、入所者数が1,058人となっております。前年比38人の減となっております。土曜日の利用者数は216人で、前年比3人の減となっております。

続いて、55ページをご覧ください。冒頭、教育長からお話ございましたが、白鳥省吾記念館名誉館長の委嘱についてでございます。白鳥省吾氏に関する啓発等に長年御尽力されてきました栗駒地区の元高校教員、佐藤吉一氏を白鳥省吾記念館の初代名誉館長として4月1日から委嘱しております。任期につきましては、令和7年3月31日までの3年間となります。なお、佐藤氏の略歴につきましては、後ほど、ご覧いただきたいと思っております。

続きまして56ページをご覧ください。社会教育施設・社会体育施設

の閉鎖についてであります。資料左上、ナンバー1の栗原文化会館の被害状況については、今回の福島県沖地震において、大ホールの空調ダクト、照明卓等の破損がございました。写真は、空調ダクトの破片です。栗原文化会館の閉鎖期間については、3月17日から来年1月までとしております。

資料右上、ナンバー2の築館体育センターについては、アリーナの窓枠、照明、屋根の軒下部分が大きく破損しております。写真は、アリーナの窓枠ですが、地震の影響で外れるなどしております。閉鎖については、3月17日から今年の10月まで予定しております。

次に、資料左下のナンバー3、若柳総合体育館の被害状況については、アリーナの天井部分のパネル、照明等に被害がございました。閉鎖については3月17日から今年の12月までを予定しております。

最後に、資料右下、ナンバー4の小田ダム湖畔パークゴルフ場については、先ほどお話がありましたが、イノシシによる芝生の掘り起こしの被害がございました。コースが4コースございますが、全般的に被害を受けたところです。写真は、掘り起こされた状況ですが、深いところで20センチほど掘り起こされております。閉鎖については、4月19日から来年の3月まで予定しております。説明は以上となります。

教育長

次に、令和4年度 栗原市 教育委員会関係行事について、説明をお願いします。

教育総務課長

資料ナンバー2の57ページをお開きください。5月分の栗原市教育委員会関係行事についてお知らせいたします。関係行事としては、5月10日(火)の13時30分から第2回市立学校長会議が金成庁舎で予定されています。また、29日(日)には、第18回栗原市小学校陸上競技大会が栗原市築館陸上競技場で開催される予定です。

なお、行事として記載しておりませんが、3期12年、これまで御尽力いただきました笠間委員さんの任期満了が5月19日となりますことをお知らせいたします。また、翌日の20日(金)午前9時から、後任の委員さんの辞令交付式が行われる予定であります。説明は、以上でございます。

教育長

説明が終わりました。質問はございませんか。

千葉委員

教育研究センターの事業についてお聞きしたいと思います。幼稚園の先生方から研修内容について要望できる場がほしいとの話を受けました。補助を必要とする子どもさんの対応の研修を受けても、なかなか研修どおり、マニュアルどおりには対応できない状況にあるようですので、対応していただくことは可能でしょうか。

教育長

教育研究センター所長から説明します。

教育研究センター所長

なかなか研修どおりにはいかないということで、苦慮されているよう

です。研修は年4回行っており、1・2回目、3・4回目は同じ内容で実施しております。預かり保育担当の方は午後の研修参加が難しいので、預かり保育の担当の方とそれ以外の方で時間を分けて実施しております。研修会が終わった際には、必ずアンケート調査を実施しており、その日の研修内容の感想や今後の研修で望むことなどを調査し、次回、或いは、次年度の研修に活かすようにしております。年度末には、各幼稚園の園長先生や各学校の校長先生に対してアンケートを実施し、評価をしていただいております。去年までは金成支援学校の地域支援部長の先生に講師としてお願いしておりましたが、今年度はアンケートの中から愛着障害についてもっと知りたいという要望がありましたので、愛着障害に関する研修会を予定している状況です。全4回の研修ですので、全部の要望に対応するのは難しい状況ではありますが、その都度、要望を聞いて対応していきたいと考えております。

教育長

補助員さん方の話を聞く機会はなかなかないので、アンケートの際に教育委員会への要望などもアンケート項目として検討していただきたい。

蘇武委員

施設の閉鎖の件ですが、特に、若柳総合体育館や築館体育センターなどは、これまで子どもたちの部活動などで使ってきたと思います。これだけの長い期間利用できないということですので、利用の機会が公平に確保されるように、これまで利用してきた方々が他の施設に移っても利用しやすいような対応をお願いしたいと思います。

社会教育課長

復旧工事は可能な限り早期に完了できるように努めてまいります。また、利用の調整についても、既に予約されてしまっている場合もあるかと思いますが、各施設に連絡し、対応してまいりたいと思います。

笠間委員

教育研究センターの事業について質問ですが、大仙市への派遣の効果がどのように出ているか、良い面がどの程度学校に浸透しているかについてお聞きしたいと思います。

また、幼稚園に行った際に、夏のプールの時間に低年齢のお子さんたちが裸で追いかけてたりして、走り回っていたことがありました。マスコミなどでも、性的な教育は幼いときから実施した方がよいと取り上げられてもおりますし、知らないうちに性暴力を受けているということもあるようですので、幼稚園や保育所の頃から、そういった教育が必要なのかなと思っております。幼児教育、特に、非認知能力を育てることが学力向上につながるとも言われておりますので、そのような研修会を考えているのか、状況をお伺いしたいと思います。

遠藤副参事

大仙市への派遣事業は、今年で6年になります。そのうちの3年間は実施できており、今年度実施できれば、4回目となります。大仙市に行ってきた先生が、自分の学校や公開研究会等の機会を使っ

て、授業づくりの分野でだいぶ浸透してきております。例えば、課題があつて、自力解決があつて、集団解決して、学び合いをするという形の授業については、小中ともに多くの学校に浸透が図られてきている状況です。今後、質的な部分を上げていく必要があります、課題として研究を進めているところです。今年度、公開研究会を予定しておりますので、どのような授業が展開されているかを実際にご覧いただくことができると思います。

教育研究センター所長

幼稚園での性に関する教育については、これまでは研修会では扱ったことはございません。これからの検討課題と考えております。なお、資料2の53ページにありますように、幼稚園については、5つの研修会を行っており、経験年数や立場に合わせた内容で実施しております。特に、幼稚園から小学校への連結という点では、教育研究センターにおいても力を入れている部分ですので、なお一層研修の充実を図ってまいりたいと考えております。

遠藤副参事

先ほど、笠間委員さんから非認知能力についてのお話をいただきました。教育研究センターとしても重要と捉えており、玉川大学の大豆生田先生が、非認知能力と主体性に関する分野で国内でも有名な先生ですので、今年度講師としてお招きして、幼稚園の先生や小学校低学年の先生を対象に研修を実施したいと考えております。NHKのすくすく子育てという番組などでも知られる先生です。

教育長

それから、運動会の日程をお示ししておりますが、新型コロナの感染対策のため、昨年同様、来賓の方々にご案内を出しておりませんので、御承知いただくようお願いいたします。

教育長

ほかにありませんか。

(なしの声あり)

質問がないようですので、7 その他 を終わります。

1 1 次回教育委員会の開催日程

教育長

次回教育委員会の日程についてお諮りします。

笠間委員が5月19日をもって任期満了で退任なされます。

栗原の教育行政に御尽力いただきました。ありがとうございました。

後任となる只見委員の辞令交付が5月20日ですので、今回は、5月20日、木曜日、午前10時からとしては、いかがですか。

(異議なしの声あり)

それでは、次回定例会は、5月20日、金曜日、午前10時からの開催とさせていただきます。

1 2 閉会

教育長

以上を持ちまして、令和4年第6回栗原市教育委員会定例会を閉会

いたします。

午後5時28分

13 本委員会の議決の次第は、次のとおりである。

日程1 議案第15号 栗原市学校事務支援室グループリーダー及びサブリーダーの人事について

日程2 議案第16号 栗原市いじめ防止対策調査委員会委員の人事について

日程3 議案第17号 金成小中学校運営協議会委員の人事について

この会議録は、書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するため、ここに署名する。

令和4年5月20日

会議録署名委員 _____

〃 _____